

シリーズ

第70回

# 人権



## コンビニで気付いたこと

近所のコンビニエンスストアで、数年前から外国人の従業員をよく見掛けるようになりました。留学生のアルバイトでしょうか、多くは若いアジア系の人ようです。お店では、外国人従業員が「ポイントカードはお持ちですか」「温めますか」「おつりは570円になります」などと、たどたどしい日本語を話しながら、慣れない手つきで商品を袋に入れてくれます。些細なこともかもしれませんが、商品を袋へ入れるとき、つぶれるような軽い物を下に入れたり、傾けてほしくない物を縦に入れたりすることがあり、不安な気持ちになったことがありました。私は商品の種類に合わせて袋に入れるという細かい気遣いを外国人に求めるのは難しいかなあと考えたとともに、日本人がレジにいると安心してしまったのを覚えています。

しかし、数カ月もすると、彼らのレジでの一連の作業は手慣れたものになっていて、税金や各種料金の収納なども手際良くこなすようになっていました。日本人のアルバイト仲間と何ら変わらず業務をこなし、さらにベテランになると、新人の日本人アルバイトに指導している光景も見掛けるようになりました。その頃には、私自身も外国人従業員に何の不安感も無くなりました。

そのとき私が気付いたのは、誰でも初めてのことをするときには、間違いもあれば、失敗もする。器用な人がいれば、不器用な人もいる。これは日本人でも外国人でも同じです。それなのに私は外国人だからという偏った見方をしてしまっていたということです。ただ一生懸命、誠実に取り組む姿勢があれば、外国人であっても日本人であっても、関係なく周りに受け入れら

れていくのだらうと思いました。

日本政府観光局のデータによると平成27年の来日外国人数は約1,973万人で、年々増加傾向にあります。グローバル化が進む中、今後さらにいろいろな国から外国人が来日し、私たちの身近なところで出会う機会が増えてくると思います。言葉や文化・習慣の違いがあっても、私は外国から来た人をひとくくりで見ずに一人の人間として接していきたいし、日本人であっても外国人であっても、遠く離れた慣れない土地で頑張っている人たちを応援していきたいと思えます。(40代 男性)

## 人権 豆知識

これらのマークを知っていますか？



答え ①コンビニエンスストア／スーパーマーケット ②ショッピングセンター／百貨店 ③トイレ ④ホテル ⑤レストラン  
これらは外国人向け地図記号と呼ばれ、外国人も見てすぐに分かるように作成されたものです。地図記号に国際基準はなく、これまで、日本人にはなじみ深くて、外国人には分かりにくい場合があり、国土地理院では、ホテルやレストランなど外国人がよく訪れる施設について検討し、平成28年3月に外国人向け地図記号(15施設)が決められました。